

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	: 20石灰窒素（石灰窒素 粒状キルン品）
会社名	: 片倉コープアグリ株式会社
住 所	: 東京都千代田区九段北一丁目8番10号
担当部門	: 生産技術本部 生産技術部
電話番号	: 03-5216-6614
FAX番号	: 03-5216-6621
緊急連絡先	: 03-5216-6614
推奨用途及び使用上の制限	: 肥料、農薬、工業用原料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危险性

： 火薬類	分類対象外
： 可燃性/引火性ガス	分類対象外
： 可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
： 支燃性/酸化性ガス	分類対象外
： 高圧ガス	分類対象外
： 引火性液体	分類対象外
： 可燃性固体	分類できない
： 自己反応性化学品	分類対象外
： 自然発火性液体	分類対象外
： 自然発火性固体	区分外
： 自己発熱性化学品	区分外
： 水反応可燃性化学品	区分外
： 酸化性液体	分類対象外
： 酸化性固体	分類対象外
： 有機過酸化物質	分類対象外
： 金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

： 急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	区分 5
急性毒性(吸入:ガス/蒸気/ミスト)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉じん)	区分 4
： 皮膚腐食性/刺激性	区分 2
： 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
： 呼吸器感作性/皮膚感作性	分類できない
： 生殖細胞変異原性	分類できない
： 発がん性	分類できない
： 生殖毒性	分類できない
： 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分 3(呼吸器系)
： 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	分類できない
： 吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

: 水生環境有害性(急性)	区分 2
水生環境有害性(慢性)	区分 2
: オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル



- 注意喚起語
危険有害性情報
- : 危険
: 飲み込むと有害(経口)
皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
吸入すると有害(粉じん)
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性
- 注意書き
- : **【安全対策】**
適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用すること。
粉じんを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質	
化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名、別名	: カルシウムシアナミド (CaCN ₂) : 55% 酸化カルシウム (CaO) 等 : 45%
成分及び含有量	: 窒素全量 (TN) 20% (成分表示は保証成分に限る) アルカリ分 55%
CAS番号	: カルシウムシアナミド 156-62-7 酸化カルシウム 1305-78-8 炭素 7440-44-0
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	: カルシウムシアナミド (化審法番号) 1-121 酸化カルシウム (化審法番号) 1-189
PRTR法 (化学物質排出把握管理促進法)	: 政令番号: 77 (第一種指定化学物質) カルシウムシアナミド 55%

4. 応急措置

- 吸入した場合
- : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。多量の場合、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合
- : 付着部又は接触部を石鹼できれいに洗い流す。外観に変化が見られたり痛みが続く場合は医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合
- : 清浄な水で15分間以上洗浄する。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
洗眼の際、瞼を指でよく開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るように洗浄する。
直ちに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合
- : 正気な場合、水か牛乳を飲ませ直ちに医師の手当てを受ける。
被災者に意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。
また、吐かせようとしてもいけない。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤、ソーダ灰、石灰、砂
- 使ってはならない消火剤 : 水、泡消火剤
- 消火方法 : 適切な消火剤を使用する。
周辺火災の消火活動を行う。
容器内に水を入れてはいけない。
できれば容器を危険地域外に移す。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 : 適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用し拭取り回収を行うこと。
- 環境に対する注意事項 : 公共用水域に流出しないように留意すること。
- 回収・中和 : シート等で覆い、飛散防止を図り、容器を回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意事項 : 24時間は飲酒しない。
適切な保護具を着用する。
破袋しないよう注意する。
水濡れに注意する。
- 保管上の注意事項 : 施錠して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)
日本産衛学会(2005年) : 設定されていない。
- ACGIH(2005年) : TLV-TWA 0.5 mg/m³
- 設備対策 : 換気を良くし、粉塵の飛散を防止する。
- 保護具
呼吸器の保護具 : 保護マスク
手の保護具 : 不浸透性手袋
眼の保護具 : 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性防除衣、ゴム長靴

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状、色など : 灰黒色の粒状物
- 臭い : データなし
- pH : 12～13(肥料分析法に準ずる)
- 融点 : データなし
- 比重又は嵩比重 : 0.9～1.2
- 溶解度 : 可溶(水)

10. 安定性及び反応性

- 安定性・反応性 : 空気中に放置すれば、水及び二酸化炭素を吸収して、酸化カルシウム及びジシアンジアミドを生じる。
水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。
- その他 : 水と反応して、体積膨張し容器を破壊することがある。

11. 有害性情報

- 急性毒性(50%致死量等含む) : ラット(経口) LD₅₀ 700mg/kg
- 皮膚腐食性・刺激性 : 長時間接触し発汗を伴うと、潰傷・発疹することがある。
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼を刺激し、粘膜を侵すことがある。
- 慢性毒性・ガン原生 : 認められていない(医薬品シアナミドによる長期投与例による)

変異原生 : データなし
その他 : 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。
取扱中に吸入すると咽喉や気管支に炎症を起こすことがある。
取扱中に吸入した後に飲酒すると、軽い中毒作用を起こすことがある。
(頭や上半身の充血、呼吸困難、心臓の興奮、心拍の進時には嘔吐
や下痢を伴うこともある。)

12. 環境影響情報

分解性 : 土壌中で分解しアンモニア、水酸化カルシウム、炭酸カルシウム、
炭酸ガスとなる。
魚毒性 : TLM 150ppm

13. 廃棄上の注意

: 水溶液は、強アルカリ性のため中和等の処理が必要である。
分解の終了まで動植物に影響があり、一箇所に多量に廃棄しない。
下水、河川への直接廃棄しない。
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理
業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国際規則 : 該当しない。
国内規則
陸上規制情報 : 該当しない。
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
特別の安全対策 : 海上輸送や水濡れに注意すること。
破袋しないよう丁寧に取扱うこと。

15. 適用法令

肥料取締法 : 石灰窒素(第3条 公定規格)
農薬取締法 : 石灰窒素(第2条)
水質汚濁防止法 : 生活環境の保全に関する環境基準項目(全窒素)
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物(法第57条2、施行令第18条の2別表第9)
化学物質管理促進法 : 第一種指定化学物質 政令番号77号 カルシウムシアナミド

16. その他の情報

参考文献
1. 14705の化学商品 2005年 (化学工業日報社)
2. 国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所)
3. GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
4. GHSモデルMSDS情報(中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター)
5. 黒須健一:石灰窒素中毒の実験研究(産業医学2巻7号557-593)(昭和32年)
6. 黒須健一:石灰窒素中毒の一症例(農村医学7巻3号226-238)(昭和32年)

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は、保証値ではありません。
危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、
すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには充分注意してください。
注意事項等は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、その時点のご配慮を
お願いします。